

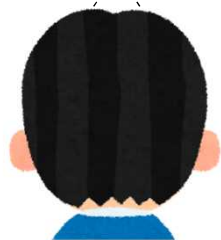
実体視とは？

- 1組(2枚)のステレオ画像を左右別々の眼で見ること、
1枚の画像のみからは得られない高さ方向の情報を知覚する方法。

実体視のイメージ図



左眼で右画像、右目で左画像を見ると
中央部に3Dの実体画像が知覚できる。



※左図は、焦点を空中写真より手前に合わせる「交差法」による実体視のイメージ図。

※焦点を空中写真より奥に合わせる「平行法」（右目で右画像、左目で左画像を見る）による実体視も可能。

実体視の方法①

実体視を容易にするポイントが以下3つあります。

1) ステレオ画像を正面から見る方が良い

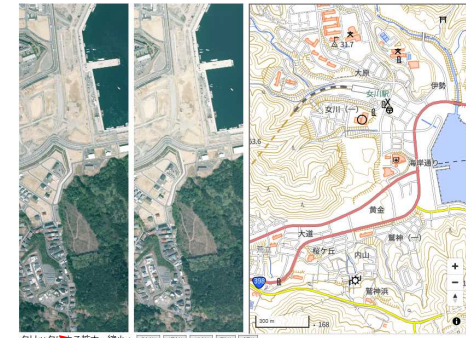
→右図のように、斜めからステレオ画像を実体視しようとするとは難しい。

2) 特徴的な地物を見ながら焦点を調整する

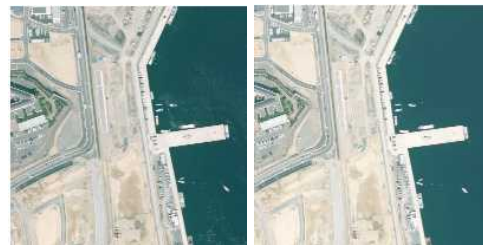
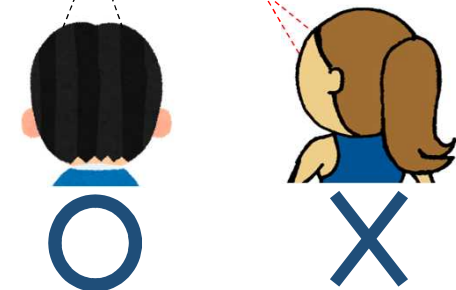
→右図の海部にある栈橋のような、特徴的な地物で焦点を調整すると実体視しやすい。

3) 実体画像の地物が上手く重ならない場合 (縦視差が消えない)

→下図のとおり、顔を左右のどちらかに若干傾けることで、実体画像が上手く重なる場合があります。



クリックで拡大・縮小: [200%] [150%] [100%] [50%]
ステレオ方式: 文差法 ○ 平行法
左画像: onagawafter/CD4_0014.jpg
右画像: onagawafter/CD4_0012.jpg



ステレオ画像



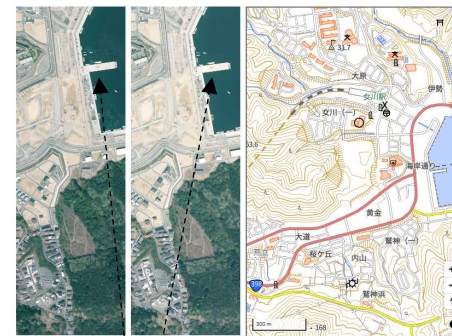
顔を傾けて調整



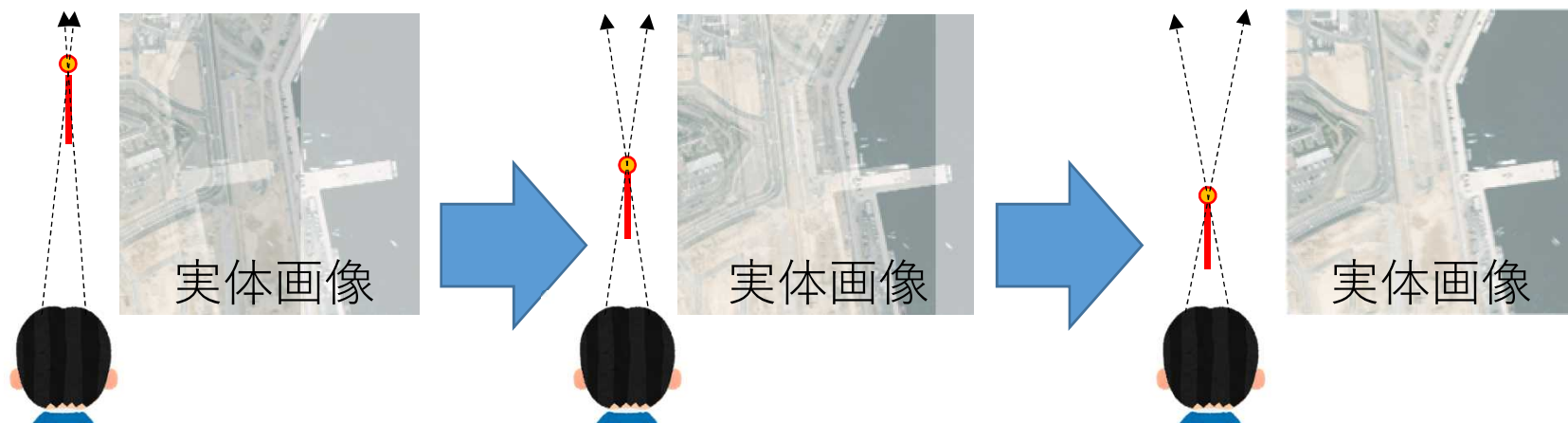
実体視の方法②

焦点の合わせ方がよくわからない方のために。

- 1) 鉛筆のような細いものをご用意ください。
- 2) ご用意した細いものを右図のように、ステレオ画像上の注目する地物と細いものの上端が一致するよう、焦点を細いものの上端に合わせてながら細いものを画像の手前に立ててみてください。
(右図は、栈橋とペン先を一致させた場合)
→まずは両眼に近い場所では無く、画面に近い場所に細いものを立てる方が良いでしょう。
- 3) **細いものを手前(自分側)に引いていきましょう。**
→そのうち下図のとおり、実体画像が重なります。



クリックによる拡大・縮小
ステレオ方式: * 交差法 | 平行法
左画像: onagawa/after/C04_00#4.jpg
右画像: onagawa/after/C04_00#2.jpg



※この方法で実体視する場合は、ステレオ方式として「交差法」を選択してご覧ください。

実体視に関するQ&A

Q1：高低が逆に見える（山が凹んでいるように見える）が、どうしたら良いか。

A1：右図の赤枠のステレオ方式を逆にすると高低が逆転します。



Q2：ステレオ画像の拡大縮小ができないのは何故か。

A2：インターネットエクスペローラーではステレオ画像の拡大縮小機能が動作しませんので、他のブラウザ（EdgeやChrome等）にてご覧ください。

Q3：ステレオ画像と地図のスクロールは連動しないのか。

A3：現時点ではステレオ画像と地図の連動はできません。

Q4：写真や地図は上方が北向きとなっているのか。

A4：写真の向きに合わせて地図を回転しています。方位については地図の右下に表示している磁針方位で確認してください。